

あおり9 (商標名：彩香)

| | |
|---|--|
| 登録番号：第8742号 | 今智之 齋藤幸彦 工藤剛 |
| 登録年月日：平成13年3月13日 | 赤平知也 |
| 登録者：青森県(青森県青森市長島1丁目1の1) | 来歴：「あかね」と「王林」の交雑実生 |
| 育成者：山田三智穂 鈴木長蔵 石山 正行 北山 弘 岡本道夫 加藤 正 佐藤 耕 町田郁夫 | 育成地：青森県農林総合研究センターりんご試験場(黒石市大字牡丹平字福民24) |

特性

■栽培特性

樹姿は中間、樹の大きさ、樹勢は中で「ジョナゴールド」に似る。若木では樹勢が強いが、花芽が着きやすく、早期結実性であるため、成り込んでくると樹勢が弱まる。樹勢が弱まると側枝がでにくくなるので、せん定等で樹勢を強めに維持する必要がある。

開花期は早く、「王林」とほぼ同じ時期である。本品種は3倍体品種であるため、授粉樹として利用できない。「ふじ」、「つがる」の花粉とは和合性が高いが、「王林」とは不和合性である。収穫期は青森県黒石市では9月下旬で、「つがる」より10日程度遅く、「千秋」より1週間程度早い。収穫前落果がないので、落果防止剤の散布は不要である。

本品種は、「あかね」に似て、結実後側果を中心に果実が自然に落下するという自家摘果性を持っている。果実の落下は落花10日後ころから始まり、落花30日後ころまで続き、ほとんどの果そうが1つ成りか2つ成り状態になる。樹勢が弱い樹や弱小芽で落果が多く、弱小芽では全果実が落果する場合もみられる。

■果実特性

果実の大きさは300g程度、果形は円～長円形で、玉揃いはあまりよくない。果梗は短く、梗あ部やがくあ部にさびがしやすい。梗あ部のさびは側果に多く、がくあ部のさびは年や地域によって発生がみられる。果色は「あかね」に似た鮮やかな紅色で、縞は不明瞭である。果面は滑らかでスカーフスキンがあり、収穫が遅れると油あがりが見られる。

果肉硬度は15～16ポンドとやや硬く、糖度(屈折計示度)は14%前後、酸度(滴定酸度)は0.45～0.50g/100mlで、食味は「ふじ」より酸味があり、果汁が極めて多く、香りがよく甘酸っぱい味である。貯蔵性は室温で10日間、冷蔵で30日間程度である。

夏場の高温、特に9月に入り残暑が激しい年に、果実の陽光面が日焼けを起こし、果肉の褐変や軟化がみられる。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

斑点落葉病、赤星病、黒星病に対して抵抗性が強く、既存品種の「さんざ」、「あかね」並の病害抵抗性を持っている。

摘果は自家摘果性の特性から通常行う1つ成り摘果を省き、自然落果がほぼ終了する落花20～25日後頃から仕上げ摘果を行うだけで十分で、摘果労力を低減することができる。

また、摘果の際はさびの発生が少なく、果形のよい果実を残すように注意する。

■地域適応性

青森県内ではいずれの地域でも栽培が可能であるが、年や地域によってがくあ部にさびの発生がみられる。青森県では、「つがる」と「ジョナゴールド」の間をつなぐ品種と位置づけている。「あおり9」は品種登録名で、実際の生果実の販売においては別に商標名として「彩香(さいか)」を用いることにしている。果実が日焼けに弱いいため、夏場高温となる暖地では栽培が難しいと思われる。

(今智之)